

## 8 IPv6 対応チェックシートの活用

IPv6 対応を円滑に進めるために各作業工程(要件定義、調達、スケジュール計画、設計・構築、運用・保守)にて確認すべき項目を「【付録 3】IPv6 対応チェックシート」にまとめている。

IPv6 の知見が十分でない場合においても、本チェックシートを活用することで、大きく立ち止まることなく、IPv6 対応が進められることを目的としている。

まずはチェックシート全体を一読することを推奨する。一読を通して、自組織における IPv6 化の全体像をイメージすることが重要である。イメージを持つことでスムーズに実作業へ入ることができる。そして、各工程において本チェックシートの項目を注意深く確認することで、手戻りを少なくし、効率的に IPv6 対応が実施できると考える。